

新型コロナウイルス感染症に対する イワサキ経営グループの取り組み

イワサキ経営グループでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うリスクに対して、お客様、お取引様、弊社社員の安全確保の観点から下記の基本方針のもと、様々な取り組みを行っております。

【基本方針】

- ①社員及び家族の生命・健康維持を優先し、お客様や取引先を含めた安全確保に努める
- ②社会的影響に配慮し、行政機関の要請に従い感染者増加を防止する
- ③自社及びお客様の経営基盤・事業継続の維持に努める

イワサキ経営 グループでの 新型コロナウイルス 感染症対策

■マスク・手洗い 手指消毒の徹底

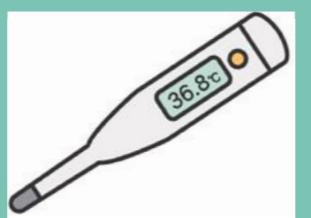


業務中は常時マスクを着用し、出社時、帰社時における「手洗い」、「手指アルコール消毒」を徹底しております。また、お客様が来社した際にも、マスク着用とアルコール消毒のお願いをさせていただいており、マスクをお持ちでないお客様には受付でお渡しをしております。

■検温と 健康管理

全社員に毎朝検温を義務付け、体温不良、37.5°C以上の発熱等の風邪の症状がみられる場合は出社させないようにしております。

また、社員の身近な人が感染した場合、あるいは感染者・濃厚接触者と認定された場合には必ず会社へ報告することも義務付けております。



■時差出勤 テレワークの実施

社内での密集状態を避けるため、時差出勤・テレワークを実施しております。

テレワークについては、通常のルールを緩和した「緊急時テレワーク規程」を設け、モバイル端末も購入し少しでも多くの社員にテレワークができる環境を整備しました。



■定期的な 換気と消毒

定期的に全部屋の換気と、職場内で不特定多数の人が触れやすい箇所（ドアノブ・スイッチ・手すりなど）を、1日数回消毒を行っております。また、お客様との面談で使用する会議室においては、徹底的な除菌と、椅子の距離を離す、アクリル板のパーテーションを設置するなどして、打合せ等における飛沫感染防止に努めております。



Withコロナ・afterコロナ時代を迎えるにあたり



代表取締役 吉川 正明

今回大流行した新型コロナウイルスは、私たちの日常生活を一変させました。また、経済的ダメージを受けた中小企業・小規模事業者の数も計り知れません。しかし私は、仮にこのコロナ禍が落ち着いたとしても、完全に元に戻るとは思っていません。これからは、「アフター(after)コロナ」ではなく、「ウィズ(with)コロナ」、コロナとの共存の時代がやってくると思っております。

コロナが完全に終息しても、リモートワークやオンライン会議はなくならないでしょう。飲食店や旅行業に以前と同じ

ように客が戻るとは限りません。今回のコロナ禍を、「異常事態」と捉えるか、「変化」と捉えるかによって、これからの経営の舵の取り方は大きく変わってきます。

まずは、現在のコロナウイルス感染症としっかりと向き合い、様々な対策を講じていく。やりすぎるとと思うくらい徹底的にやる。そうすることで新しい発想や知恵が生まれ、それがこの危機を乗り越える原動力になるはずです。

私たちもできる限りのことをいたします。共にこの歴史的困難を乗り切りきつていきましょう。

■YouTubeによる 伝達事項配信

毎朝の朝礼、全社員が集まる全体会議や研修は当面の間見合わせております。社内での伝達事項においては、YouTube配信により行っています。



■オンラインセミナーへの切り替え

当社主催のセミナーについては、会場での開催を自粛し、YouTubeやZoomを使用したオンラインセミナーに切り替え積極的に行っております。



■オンライン会議

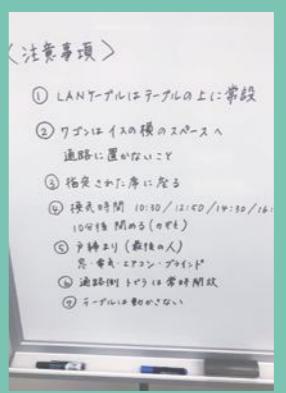
極力対面での打合せを減らし、電話・メール・オンライン会議などを積極的に利用するよう努めています。

また、お客様への訪問業務におきましては、なるべく30分以内とし、それ以外の業務はリモート業務、オンライン会議などの対応をさせていただきます。



■フリーアドレスの見合わせ

万が一社員が感染した際に、感染経路を把握する観点から、当面の間、フリーアドレスは見合わせ固定式としております。また、セミナールーム等や各個室も使用して、密集状態を避ける工夫をしております。



■支援・補助金等 緊急支援策の 情報発信

資金繰り支援・補助金助成金活用支援等、コロナにおける緊急支援策についての情報を積極的に発信し、金融機関担当者による緊急融資相談会や、当社担当者による個別支援により、お客様の事業継続に向け最大限の努力をしております。

